

令和2年度「事業評価・提案会」評価・提案内容

事業名	③ 高齢者の見守り支援事業
-----	---------------

担当部署	福祉保健部 長寿介護課 高齢者支援室
------	--------------------

市の取組への評価・課題	具体的な対応策・提案
<p><b>【評価○】</b></p> <p>・ボタン一つで相談センターに繋がる仕組みは手軽で利用者にとっても使いやすい。</p>	<p>・犬を飼っている人は毎日散歩で近所を回るので、併せて近隣の見回りも手伝ってもらう仕組み(仮称 見回りドッグ制度)はどうか。(認定された犬には予防接種の費用を助成するなどの補助を行う等のインセンティブを付与)</p> <p>・防犯ブザーのように緊急時には音となる小型機器を導入し、携帯させてはいかがか。</p> <p>・責任のある立場とするためにも現在の無償形式ではなく、協力員を有償にて任命することはいかがか。</p> <p>・全国ではふるさと納税制度を活用した有料取組事例があることから、ぜひ本市でも取り入れることができないか。</p> <p>・すでにいーばしょ等で実践はしているが、外に出て誰かとつながるための交流の場となるコミュニティや居場所作りの重要性を再度念頭に事業を検討していただきたい。</p>
<p><b>【評価△】</b></p>	<p>・高齢者に限った話ではなく、障がい者や子育て世代、ひきこもりの方など多世代間にわたった幅広いネットワークの構築が求められる。また、民間企業や郵便局とも連携した取組を検討することも重要である。</p> <p>・地域全体で支え、見守ることが必要であり、緊急時には音などで周囲へ知らせる仕組みづくり等が必要。</p> <p>・地域を回っている人(犬の散歩、宅配や郵便局等)を活用してはいかがか。</p> <p>・民間企業とも連携し、また多世代間(障がい者、引きこもり、母子家庭等)における組織だったネットワークの構築や形成が必要。</p> <p>・協力員の方について有償サービスとしてはいかがか。</p>
<p><b>【課題】</b></p> <p>・対象者が限られるため仕方ないことではあるが、普及率が低いと感じる。</p> <p>・協力員とは言え、鍵を預ける現行の制度はリスクが高いのではないか。</p>	<p>・訪問だけでなく集まれるカフェ等の居場所作りが必要。</p>